

第11回 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会 および  
第10回 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会

日時：令和7年3月19日（水）9：30～10：30

場所：WEB会議（福井県庁10階 総合防災センター）

【議事概要】

- (1) 規約改正
- (2) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会  
令和6年度の実施状況と令和7年度の実施予定
- (3) 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会  
令和6年度の実施状況と令和7年度の実施予定
- (4) その他（情報提供）

【議事内容】

- (1) 規約改正
  - ・ 国の協議会に(株)ハピラインふくいが鉄道事業者としてオブザーバー参加
  - ・ 県の協議会も同様に(株)ハピライン福井を含む鉄道事業者等がオブザーバー参加
- (2) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
  - 福井河川国道事務所
    - ・ 34項目の取り組みを実施
    - ・ 水防演習を12年ぶりに実施し、様々な対策を紹介
    - ・ 洪水予報や気象情報の提供、緊急放送の訓練などを実施
    - ・ 防災コンテストや福井豪雨の企画展の開催
    - ・ 国と県が連携し、要配慮者利用施設の避難訓練の支援を行っていく
- (3) 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会
  - 福井県
    - ・ 「円滑かつ迅速な避難の取り組み」を24項目、「的確な水防活動のための取り組み」を7項目、「一刻も早い復旧のための取り組み」を3項目、これら34項目すべて実施
    - ・ 令和7年度も引き続き、上記項目について取り組んでいく
    - ・ 具体的な取り組み事例として、以下の3つを紹介
      - 避難行動の情報発信：水位計・河川監視カメラの増設
      - 災害復旧に対する支援の強化：ドローンを活用した被災状況調査
      - 避難訓練実施の促進・支援：要配慮者利用施設の避難訓練の実施率向上のための支援
  - 若狭町
    - ・ 令和6年6月8日に実施した水防訓練を報告
    - ・ 消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、職員など約170名が参加
    - ・ 土のう工法、せき板工法、住宅浸水防止工法などを体験
    - ・ 赤十字奉仕団による炊き出し訓練や県防災ヘリによる救出訓練を実施

- ・ 今後とも地域防災力の向上を目指して、減災の取り組みを進めていく

#### ■ 福井市

- ・ 個別避難確保計画の推進について報告
- ・ 年度ごとに推進地区を設定し、自治会連合会長等と方針を決定
- ・ 検討会を実施し、避難支援等関係者の見直しを行い、福祉専門職を追加
- ・ 個別避難計画作成の推進のため、関係団体や地域との連携を強化

#### ■ 敦賀市

- ・ 地域防災マップの作成支援について、平成28年度から開始し、令和6年度末時点で131行政区のうち、92地区で作成済
- ・ キックオフ説明会の開催や敦賀市防災士会と協力して、各区のワークショップを実施
- ・ 完成した地域防災マップは、ホームページに公開（同意を得た地区のみ）
- ・ 今後も地域防災マップの作成支援を継続していく

#### ■ 小浜市

- ・ 令和6年10月に福井県総合防災訓練を実施
- ・ 能登半島地震の経験を活かし、徒歩による避難を呼びかけ
- ・ 津波ハザードマップについて、市内全世帯に配布し、沿岸地区で説明会を実施
- ・ 沿岸地区の電柱などに海拔表示板を設置
- ・ 訓練経費を助成し、地域の防災活動を支援していく

#### ■ 大野市

- ・ 福祉イベントで防災ブースを出展し、マイ・タイムラインの簡易作成体験を実施
- ・ 気象キャスターと作るマイ・タイムライン作成講習会を開催し、参加者からコミュニティ・タイムライン、地域防災マップの必要性について意見を得る
- ・ タイムラインや地域防災マップの作成促進を継続し、住民地域の防災力向上を図る

#### ■ 勝山市

- ・ 指定避難所までの避難ルートを示した防災マップ作成の促進を実施
- ・ 各地区区長会議で周知し、要望のあった区に出向いてハザードマップを確認、まち歩きを行い、そのあとマップを作成
- ・ 福井県防災士会の協力を得て、実災害を想定した研修会を開催

#### ■ 鯖江市

- ・ 令和4年度から個別避難計画の作成に取り組んでいることを報告
- ・ 「鯖江市避難行動要支援者協議会」を立ち上げ、計画の作成手順を検討
- ・ 令和4年度から3年間で108の町内会で取り組みを実施
- ・ 令和7年度には、残る45町内で取り組みを実施し、市内全ての町内で完了予定
- ・ 福祉専門職との連携を強化し、計画の更新作業を進めていく

#### ■ あわら市

- ・ 地域住民への防災に関する出前講座を北潟地区で実施
- ・ 約100名が参加し、北潟小学校で避難所レイアウトの確認や設営体験を行った
- ・ 簡易ベッドやマットレスなどを展示し、避難所生活を快適にするための資機材を紹介
- ・ 令和7年度も市内各地で出前講座を実施し、地域の防災力向上を目指す

#### ■ 越前市

- ・ 災害時の防災情報の迅速かつ正確な伝達を目的として、一斉配信システムを導入
- ・ 防災情報の配信に時間を要していたが、システムの導入により、職員2名で15分程度で防災情報の配信が可能となった
- ・ 全職員を登録し、災害初動対応時の参集体制の迅速化が図れた
- ・ 今後も情報共有体制の確立と情報伝達の訓練を充実させ、迅速な対応を目指す

#### ■ 坂井市

- ・ 総合防災情報システムの導入とその活用について説明
- ・ 坂井西警察署および嶺北消防組合もシステムを使用可能にした
- ・ 関係機関が適時に被害状況を登録・閲覧でき、業務の効率化を実現
- ・ 2月に災害対策本部運営訓練を実施し、警察・消防・市職員との連携強化を図った
- ・ 今後も訓練を通じて、災対応力の強化を進めていく

#### ■ 永平寺町

- ・ 4地区をモデル地区として、コミュニティ・タイムラインや防災マップ、地区防災計画の作成を進めたことを報告
- ・ 各種団体の代表者約10名で、防災まち歩きを実施し、地形的特徴や危険箇所、避難経路、要支援者の所在を把握
- ・ 令和7年度も同様に4地区をモデル地区として選定し、取り組みを継続
- ・ 最終的に8地区をモデル地区と市、他の地区にも共有して永平寺町全体で防災力を向上させる

#### ■ 池田町

- ・ ハザードマップの周知とご近助防災計画への活用について説明
- ・ 各家庭に配布し、ホームページにも掲載
- ・ ご近助防災計画は、班ごとの避難計画を記載し、自助・共助を促進
- ・ 令和7年度も避難訓練や研修を継続し、防災活動を推進していく

#### ■ 南越前町

- ・ 地域での防災出前講座や防災アプリの普及について説明
- ・ 令和5年度に防災アプリ「南越前町防災アラート」を整備し、令和7年1月末で約1100件ダウンロードされ、町に特化した防災情報をリアルタイムで提供している。
- ・ 令和6年度に全74集落中、31集落で防災出前講座を実施
- ・ 令和7年度も引き続き防災出前講座を実施し、地域の防災力向上を目指す

#### ■ 越前町

- ・ 災害の危険性や備えの大切さを知ってもらうため、学校や地域住民に対する防災研修を実施
- ・ 丹生高校で避難所の種類と役割、開設体験、テントや簡易ベッドの作成と片づけなど防災出前講座を実施
- ・ 今後も小中学校や地域住民に対する防災出前講座やパネル展示を通じて、防災意識の醸成を図り、防災訓練や避難訓練を実施していく

#### ■ 美浜町

- ・ 住民の防災意識と防災対応能力の向上を図るため、防災用品が入ったリュックを全世帯に配布
- ・ リュックには、ヘルメットや衛生用品、給水バッグなど 22 品目が入っている。
- ・ この取り組みを通じて、住民の防災意識向上を目指す

#### ■ 高浜町

- ・ コミュニティ・タイムラインの作成促進について説明
- ・ 令和 6 年に内浦地区で防災計画策定委員会を発足
- ・ 委員会を月 1 ～ 2 回、最終的に 8 回実施し、令和 7 年 4 月に防災計画を策定予定
- ・ 地域防災力の向上を目指して取り組みを進めていく

#### ■ おおい町

- ・ 自主防災組織の活用・強化を目的として、総合防災訓練と自主防災組織の研修会を実施
- ・ 総合防災訓練では、自主防災組織を含む関係機関約 160 名が参加
- ・ 自主防災組織の研修会では、11 月と 2 月に年 2 回実施し、各回約 100 名が参加
- ・ 今度は、地域防災マップの作成やマイ・タイムライン作成につながる研修会を実施予定
- ・ 地域防災力の向上を目指して取り組みを進めていく

#### (4) その他（情報提供）

##### ■ ワンコイン浸水センサ実証実験

- ・ 令和 7 年度も募集があり、3 月 14 日から 5 月 30 日までの約 2 ヶ月半の募集期間
- ・ 現在、全国で 202 自治体が参加しているが、福井県内からの参加はまだない。
- ・ 浸水センサはポンプのスイッチのタイミングや通行止めの判断、自主避難のタイミングのトリガーとして活用可能

##### ■ 川の防災情報のアップデート

- ・ 3 月 17 日にリニューアルされ、トップページが大きく変更